

はじめに

日本では二〇〇九年、交通事故死者数が五〇〇〇人を切るなど、交通事故は全体に減少傾向にあり、これは大変喜ばしいことです。しかし、この数字は裏を返せば、まだ年間五〇〇〇人近くの方が亡くなっているということ、交通安全の問題はまだまだ、決して手を緩めることのできない社会問題であると言えます。

当学会では、一九七四年の設立以来、こうした交通安全の問題を中心に、各種交通政策、都市計画、交通安全教育など、交通に関わる広範なテーマを視野に、さまざまな研究活動を展開してまいりました。

また、交通の問題を広く社会に訴える手段として、各種シンポジウムの開催、広報出版活動などを展開してまいりましたが、このたび、これら活動の一環として、このIATSSブックレットを発行する運びとなりました。

第一回目の今回は、二〇一〇年一月五日、当学会が主催いたしましたシンポジウム「これからの交通安全」(於…東京・学士会館)の内容をまとめ、お届けいたします。

当学会ではこれからも、交通及びその安全に関わるさまざまなテーマを取り上げ、このシリーズを発行してまいります。ぜひ多くの方にお読みいただき、交通及びその安全に関わる問題に関心を持っていただくと同時に、皆さまと今後議論を深めさせていただききっかけとなればと願っております。

二〇一二年四月